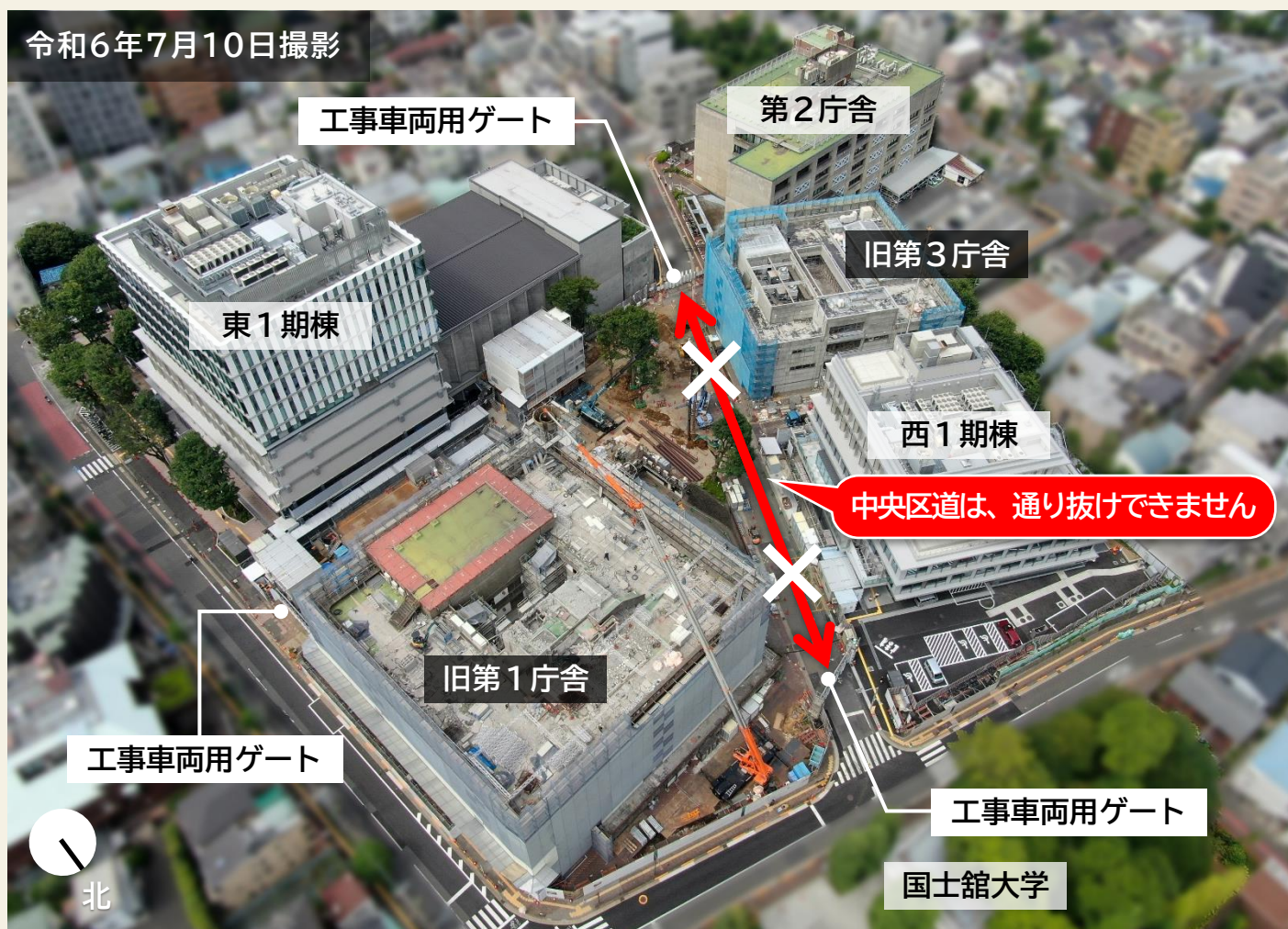


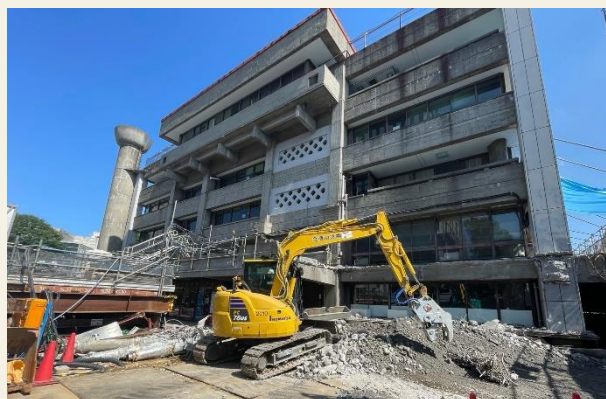
# 07 本庁舎等整備工事News

令和6年7月号 Vol.14 作成/庁舎整備担当部庁舎建設担当課 〒154-8504 世田谷区世田谷4-22-33  
☎03-5432-2986 FAX03-5432-3006 協力/大成建設株式会社東京支店

## 旧庁舎の解体工事を進めています



北側(国士舘大学側)より、工事敷地全体の状況を撮影



旧第1庁舎南側 バルコニー解体の様子

### 2期工事の開始に伴い、中央区道を封鎖しました。

2期工事が始まり、旧第1庁舎と旧第3庁舎を含む範囲が工事エリアとなりました。2期、3期の工事期間中は、中央区道部分の地下工事や路面整備を順次実施するため、一般車両、歩行者共に、中央区道の通り抜けができません。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



# 旧第1庁舎

航空写真

令和6年7月10日撮影

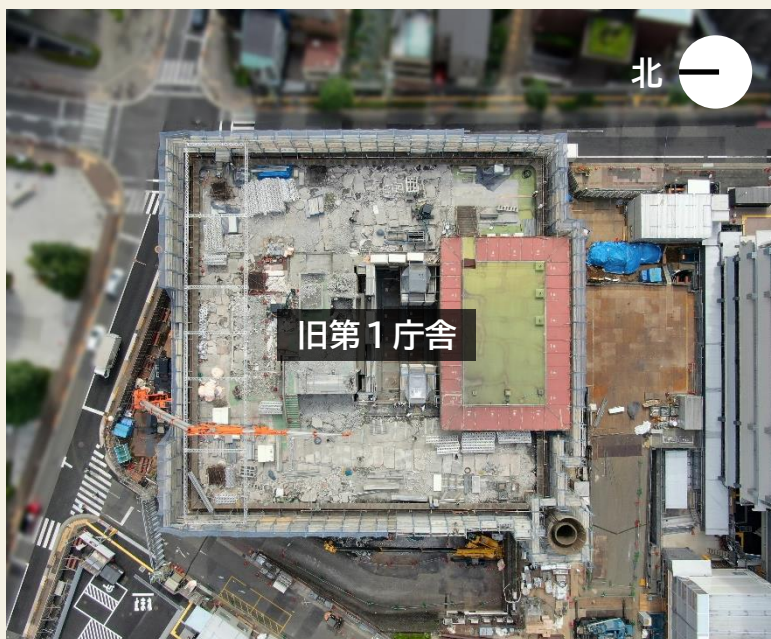


西側（新庁舎西棟側）より、旧第1庁舎の解体工事状況を撮影

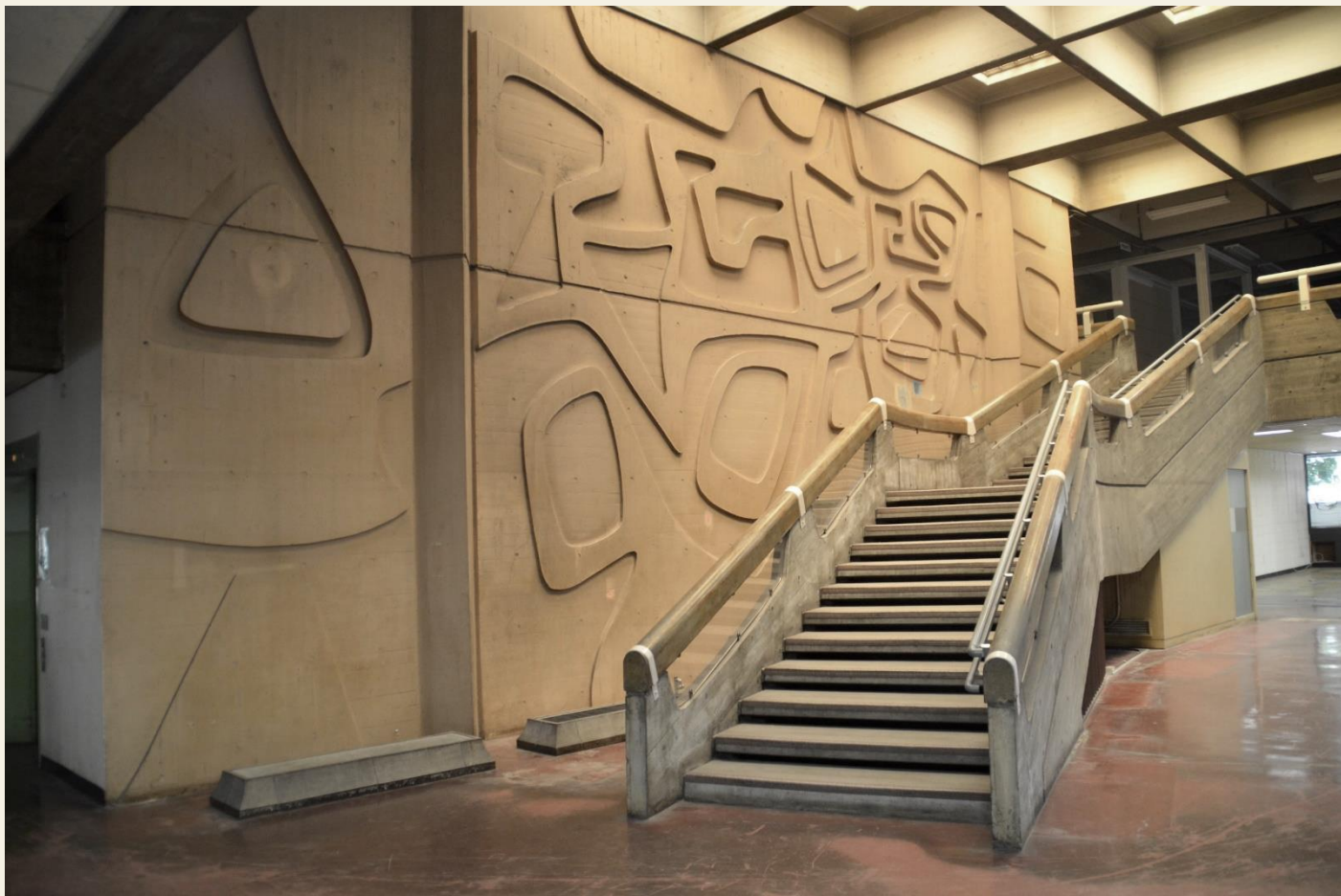
## 現在行っている主な工事

- 内装解体工事
- 解体用外部足場組立て
- 屋上ケージシステム組立て

旧第1庁舎では、内装の解体工事を実施するとともに、建物の外周部には、解体用外部足場の組立てを行っています。また、上層階の解体時に破片が現場の外へ飛散しないよう、屋上全体をネットで覆う養生システム（ケージシステム）を設置し、万全の安全対策で解体作業を進めていきます。







第1庁舎を象徴する空間として、長らく親しまれてた1階エントランスホールの大階段とレリーフ



2階吹き抜けまわりの廊下



# 旧第1庁舎

## 既存庁舎の保存



床とレリーフは、竣工当時の仕上げが残る部分を、それぞれ直径30cm程度の大きさでくり抜き、保存しました。将来、東棟1階の前川ギャラリーへの展示を検討しています。



長らくカーポートで隠れていましたが、旧第1庁舎の北側出入口には、竣工当時のサインが残されていました。

●他にも木製の階段手摺や天窓のガラスブロック等も保存しました。

UD FONT

世田谷区  
SETAGAYA CITY





中庭にあった既存樹木(けやき)を、一時的に場外移植しました。2期完成時には、再度、新庁舎敷地内に移植します。



全長10m程に剪定し、夜間に大型トラックで慎重に運搬しました。



場外移植先の状況





建物より高い位置まで防音パネルを組み、周囲への解体時の騒音を低減します。



北側(国土館大学側)の様子



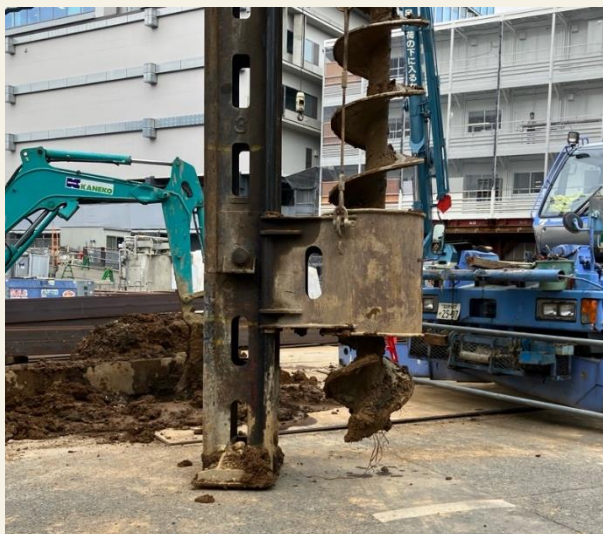
東側(セブンイレブン側)の様子



# 旧第1庁舎

## 山留工事の様子

山留(やまどめ)とは、地面を掘削する際、土が崩れないよう設置する「仮設工作物」です。ここでは、2つの鉄骨をつなぎ合わせ、掘削に必要となる全長14mの杭とし、重機で削孔した穴に埋めていきます。



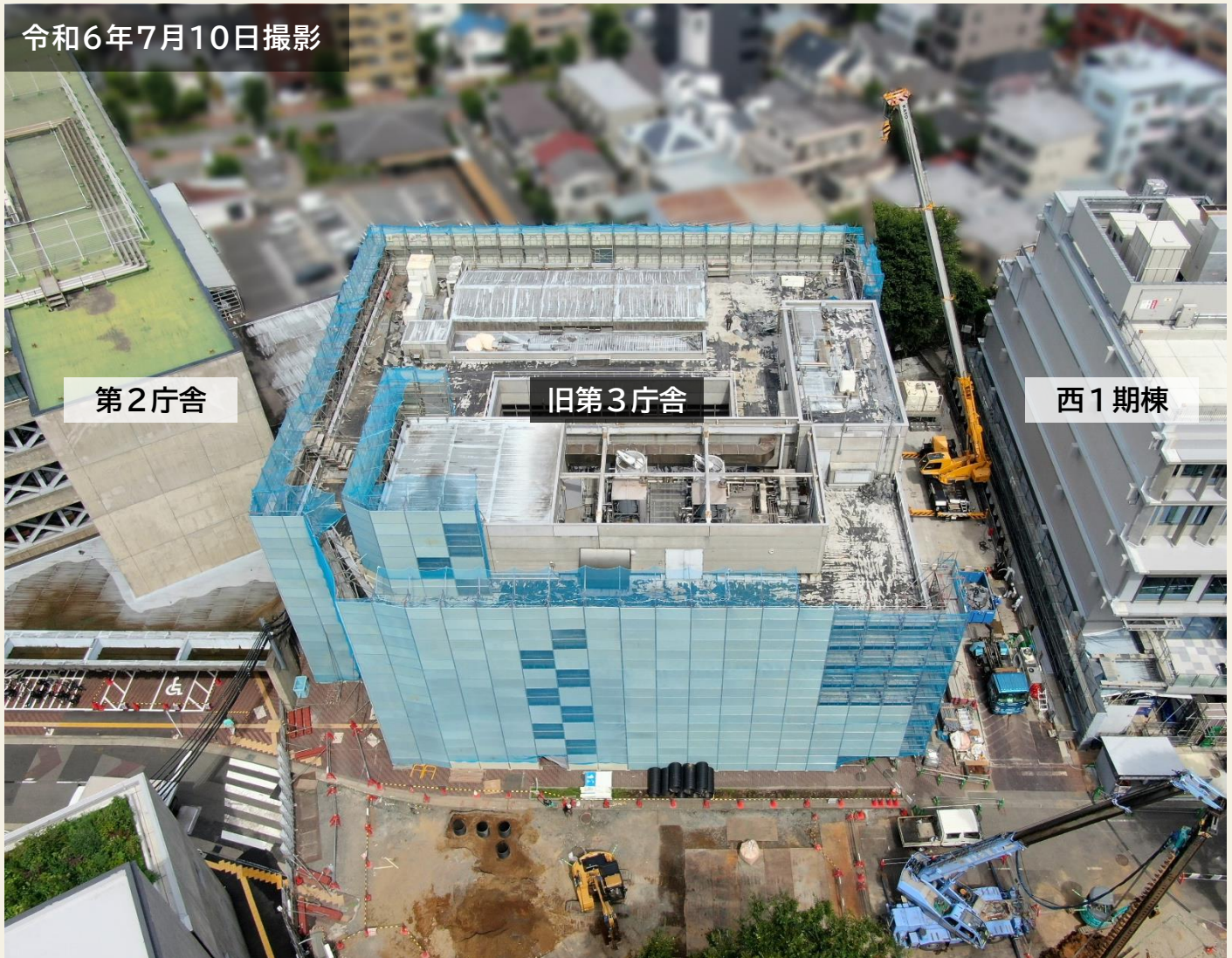
オーガースクリューと呼ばれる長いドリルで、杭を埋設するための深い穴を削孔していきます。



# 旧第3庁舎

航空写真

令和6年7月10日撮影



東側（新庁舎東棟・区民会館側）より、旧第3庁舎の解体工事状況を撮影



## 現在行っている主な工事

### ● 躯体解体工事

旧第3庁舎では、解体用足場の組立てや内装の解体工事が完了し、新庁舎西1棟と旧第3庁舎の間のスペースに大型重機を搬入し、躯体解体工事を進めています。

今後、地中の基礎を含め、令和6年10月まで躯体の解体工事を実施していく予定です。



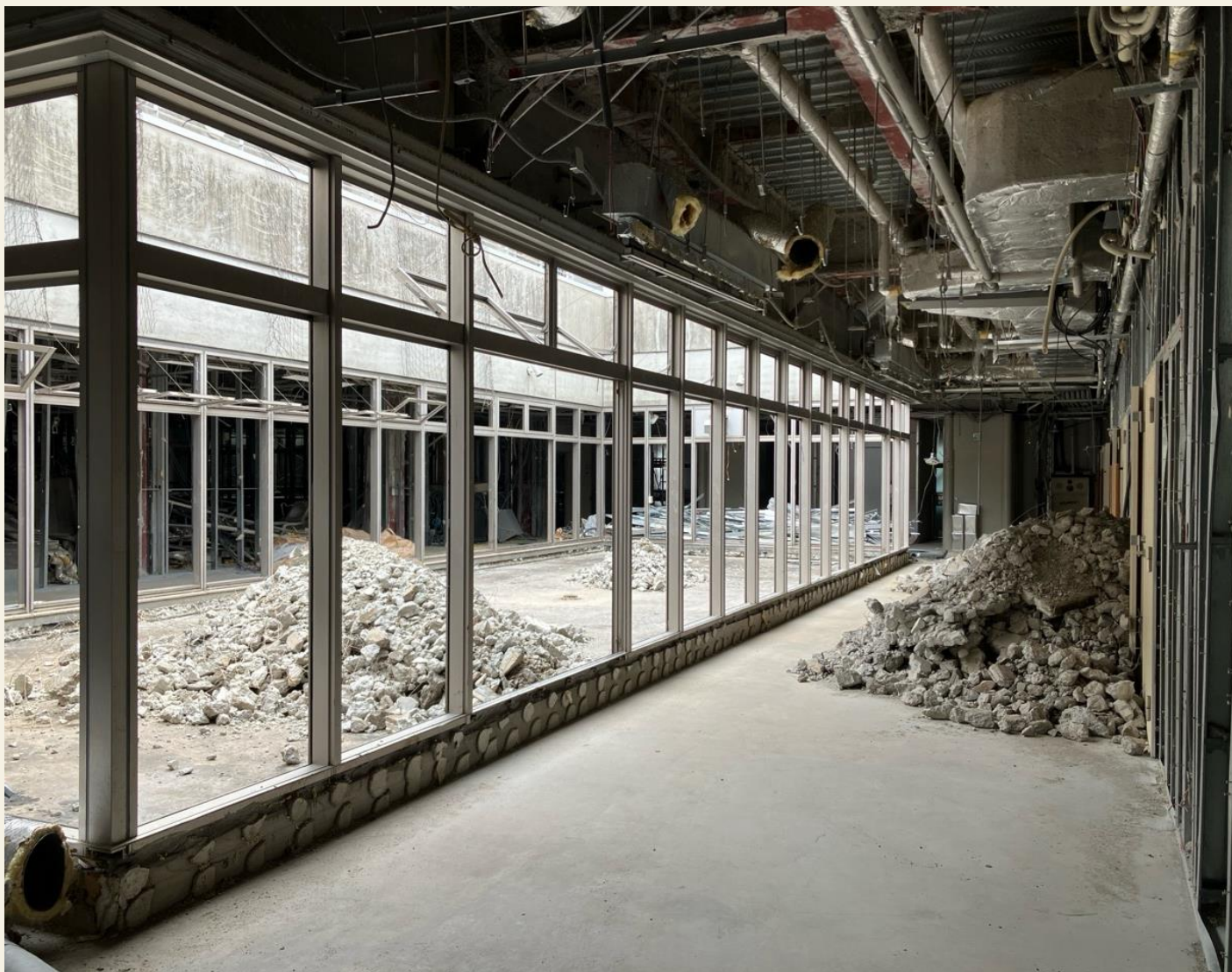


エントランス(左)・ピロティ(右)。躯体の解体に先立ち、外装や内装の解体を行いました。



区民窓口があった1階では、分別回収のため、先行して床材(OAフロア)を撤去しました。





ブライトホールがあった3階では、中庭の植栽を撤去しました。



屋上では、敷設されていた防水層を撤去しました。三角の屋根(写真右)はブライトホールの上部です。